

	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
中学校第3学年	はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。	社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。
	<b>Unit 5 A Legacy for Peace</b> どのような人かを理解したり伝えたりするために、要点を捉えることができる。	<b>Unit 1 Sports for Everyone</b> スポーツが持つ力を理解するために、障がい者スポーツについて書かれた文章の概要を捉えることができる。	<b>Unit 2 Haiku in English</b> お互いの知らない一面を知るために、自分や相手が好きなことや取り組んできたことについて、たずね合ったり答えたりすることができる。	<b>Unit 5 A Legacy for Peace</b> あこがれの人物を紹介するために、その人についての詳しい情報を整理して加え、書いた原稿をもとに発表することができる。	<b>Unit 1 Sports for Everyone</b> 日本を訪れる外国人に楽しんでもらうために、その人の経験や希望をもとに、日本滞在中のプランを考えて、メールを書くことができる。
中学校第2学年	はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができる。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。
	<b>Unit 1 A Trip to Singapore</b> お互いの予定などを知るために、休暇や週末の予定などについての対話を聞いて、主な内容を理解することができる。	<b>Unit 1 A Trip to Singapore</b> 観光名所の特徴を知って人に伝えることができるように、名所を紹介する英文を読んで、その概要を捉えることができる。	<b>Unit 5 Universal Design</b> 誰もが使いやすいものについて考えるために、相手の考えや気持ちなどを読み取ったり、自分の気持ちなどを伝えることができる。	<b>Unit 3 My Future Job</b> 自分の体験を伝えるために、職業体験について、事実や意見を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を発表することができる。	<b>Unit 2 Food Travels around the World</b> クラスメートがすすめるレストランを紹介するために、自分の考えやおすすめの理由について、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。
中学校第1学年	はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。	関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。	関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。
	<b>Unit 6 A Speech about My Brother</b> 友達などがどのような人か知るために、必要な情報を聞き取ることができる。	<b>Unit 7 Foreign Artists in Japan</b> 文化や言葉、食べ物などについて知るために、その情報についてのやり取りを読んで、必要な情報を読み取ることができる。	<b>Unit 2 Our New Teacher</b> お互いのことをよりよく知るために、ふだんの行動について、たずねたり答えたりすることができる。	<b>Unit 5 A Japanese Summer Festival</b> 相手に自分のことを知ってもらうために、自分の好きなことや、体験したことを伝えることができる。	<b>Unit 9 Think Globally, Act Locally</b> 世界や地域の問題を伝えるために、したいことやする必要のあることについて、ポスターなどに自分の思いを正確に書くことができる。
小学校第6学年	ゆっくりははっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる。	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。	自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。
	<b>Unit 1 This is me!</b> 名前や好きなもの・こと・誕生日などについてのやり取りを聞いて、おおよその内容を理解することができる。	<b>Unit 3 Let's go to Italy.</b> 友達が作成した「旅先案内カード」を読み、その友達が行ってみたいおすすめ国や地域と、その理由などが分かる。	<b>Unit 2 How is your school life?</b> 日常生活や宝物について、その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	<b>Unit 4 Summer Vacation in the World</b> 夏休みの思い出について、行った場所、楽しかったこと、感想など伝えようとする内容を整理した上で、話すことができる。	<b>Unit 3 Let's go to Italy.</b> 「旅先案内カード」を作成する活動を通して、行ってみたいおすすめ国や地域と、その理由を、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を用いて書くことができる。
小学校第5学年	ゆっくりははっきりと話されれば、自分のことや日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現、具体的な情報を聞き取ることができる。	活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる。音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句の意味が分かる。	基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができる。日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	簡単な語句や基本的な表現を用いて、日常生活に関する身近で簡単な事柄について話したり、自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で話したりすることができる。	大文字、小文字を活字体で書くことができる。語順を意識しながら、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。
	<b>Unit 3 What do you want to study?</b> 登場人物が学びたい教科やなりた職業について聞き取ることができる。	<b>Unit 1 Hello, friends.</b> 自己紹介の場面で、活字体の大文字を識別し、名前の綴りを“S-A-K-U-R-A”などと発音することができる。	<b>Unit 6 What would you like?</b> ていねいに注文をしたり、値段を尋ねたり、答えたりすることができる。	<b>Unit 4 He can bake bread well.</b> 地域の身近な人の職業やできることなどについて話すことができる。	<b>Unit 2 When is your birthday?</b> 友達への「バースデーカード」を作成する活動を通して、自分や友達の名前を書くことができる。
	<b>Unit 5 Where is the post office?</b> 道案内されている場所やさがしものがあるかを知ることができる。	<b>Unit 4 He can bake bread well.</b> 友達が作成した「身近な人紹介カード」を読み、その人の職業やできることなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句の意味が分かる。	<b>Unit 7 Welcome to Japan.</b> 好きな季節とその理由、年中行事などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	<b>Unit 8 Who is your hero?</b> 自分のあこがれの人について、伝えようとする内容を整理した上で話すことができる。	<b>Unit 8 Who is your hero?</b> 「ヒーロー紹介カード」を作成する活動を通して、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。

二重線枠 : 特に小中接続を意識して指導する学年(小6・中1)

太枠 : 各中学校区で特に重点を置いて指導する領域

BRIDGE: 小中接続のために重点を置いて指導する単元等